



バースデーケーキで祝福される佐々木さん

佐々木コトさん100歳おめでとう

佐々木コトさんが1月25日、100歳の誕生日を迎えられ、入所先の特別養護老人ホームゆうあいの里で百寿を祝う会が行われました。大正7年生まれ佐々木さんは、旧出精村出身。牛潟町の亡夫・由五郎さんと農業を営みながら7人の子を授かり、孫13人、ひ孫11人に恵まれました。歌や踊りが得意で、近所の友だちと2人組で「牛潟のこまどり姉妹」と親しまれたほどの腕前。今でもリクエストすると、自慢の歌を聞かせるそうです。この日は、市の白戸福祉部長から顕彰状が手渡され、家族や施設入所者ら約50人が祝福。長女の神テコさんは「好き嫌いなく食べ、何事も深く悩まない性格が長生きの秘訣かな」と話していました。

安全・安心なまちづくりに貢献

平成29年警察協力功労者感謝状贈呈式が1月25日、松の館で開催され、地域での捜査活動や交通安全運動などに貢献した市内の3団体、6個人に感謝状が贈られました。

式では、古川昭治つがる警察署長が出席者一人一人に感謝状を手渡し、「市民に愛され信頼される、力強い警察署を目指して取り組んでまいります」と式辞を述べました。また、7人の優良警察職員も表彰されました。警察協力功労者は次のとおりです。

団体＝青森千代田株式会社イオンモールつがる柏警備、株式会社カプコンゲームランドつがる柏店、つがる市生活指導協議会、個人＝葛西治千代、高橋哲榮、中村雅志、奈良祐一郎、柳栄浩、吉田幸一



感謝状を受け取る警察協力功労者ら



基礎練習で汗を流す参加者

ジュニアランニングクラブが練習開始

1月27日、柏総合体育センターで市ジュニアランニングクラブ（栗林輝生監督）が平成30年の活動をスタートしました。同クラブは、平成25年3月に発足。県民駅伝チームの成績を向上させるため、主に中学生選手の強化・育成を目指して活動を行っています。

この日は、市内の小中学生を対象に合同練習会が行われ、約50人が参加。スポーツトレーナーの平沢一臣さん（深浦町）の指導のもと、効果的な動的ストレッチや素早く器用に体を動かすための基礎トレーニングなどで汗を流しました。平沢さんは「体の安定と動きやすさを両立できる姿勢（パワーポジション）を意識して練習しよう」と話していました。

鬼をやっつけろ!市内各地で節分行事

2月2日、市内の保育施設で豆まきや恵方巻き作りなどの節分行事が行われました。

このうち、しげた保育園（工藤敦子園長）では、手作りの鬼のお面をかぶった76人の園児が、豆まき集会を楽しみました。はじめに節分の由来を学習した園児たちは、心の中にある「泣き虫鬼」や「好き嫌い鬼」などを退治するとみんなで約束。童謡「豆まき」を元気に合唱して鬼の登場を待ちました。赤鬼と緑鬼が登場すると園内は大騒ぎ。泣き出す子もいましたが、豆に見立てたボールを力いっぱい鬼にぶつけていました。

ヴィクター・セラリアちゃん（4歳）は「おこりんぼ鬼を退治できた。みんなと仲良くします」と話していました。



みんなで「鬼は外! 福は内!」

「道の駅もりた」 4/6にグランドオープン

現在、施設整備を行っている「道の駅もりたアーストッブ」。そのグランドオープンに先駆け、地元特産物の販売・PRの拠点となる農産物直売所「おらほのめへ」が2月1日、新たな建物で開店しました。

売り場面積が2倍となった店内には、直売所会員らが出荷した新鮮な農産物や加工品などがずらり。店内で調理するコロッケやいも餅、スムージーも好評で、開店を待ちわびた多くの市民らが買い物を楽しんでいました。

道の駅もりたは、施設の改修や駐車場の拡張を行い、4月6日にグランドオープンします。憩いの場としてもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。



新装開店でにぎわいを見せる「おらほのめへ」



絵札を取り合う子どもたち

雪山のかるたに一直線！

銀杏ヶ丘こども園(稲葉綾子園長)で2月9日、「雪上かるた大会」が行われ、1歳児から年長児約70人が雪の感触とかるた遊びを楽しみました。

これは、雪に親しみながら楽しく体力づくりをしようと、昭和58年から続く同こども園の恒例行事。かるたは平成23年度の卒園児が作ったもので、「むしばになるまえに きちんとはみがき」など生活習慣に関することを題材に、絵の具やクレヨンで彩り豊かに描かれています。読み札が読み上げられると、園児たちは絵札に向かって一直線。雪山に並んだ絵札を取り合いながら、歓声を響かせていました。小見山達喜君(6歳)は「楽しかった。雪もかるたも大好き」と笑顔を見せていました。

明るいまちづくりへ役立てて

2月19日、東北電力株式会社五所川原営業所(赤川博之所長)と株式会社ユアテック五所川原営業所(三浦博文所長)が共同で、市にLED街路灯20基を寄贈しました。

これは、電気を通じて明るく住みよいまちづくりに寄与しようと、両社が1960年頃から続けている社会貢献活動の一環で、東北電力から街路灯本体が贈られ、ユアテックが無償で設置工事を行います。

この日は、赤川所長と三浦所長らが市役所を訪れ、福島市長に目録を贈呈。赤川所長は「まちが明るく活気づいて防犯上でも役立ってくればうれしい」と話し、福島市長は「大変助かる。有効に使わせていただきます」と感謝していました。



福島市長に目録を手渡す赤川所長(右)と三浦所長(左)



講演する岡田世界文化遺産登録推進室長

世界文化遺産の登録を目指して

つがる縄文の会主催による「JOMON亀ヶ岡文化フォーラム2018」が2月11日、松の館で開催され、市民ら約130人が参加しました。

この日は、県企画政策部世界文化遺産登録推進室長の岡田康博氏が世界遺産登録の実現に向けた取り組みを説明。「2年後の登録に向け、地域の応援をいただき今から細かいことを想定した準備をしていく必要がある。登録の審査は年々厳しくなっているが最大限の努力をして、ぜひとも実現したい」と話していました。

このほか、木造高校流通ビジネス系列の3年生5人が、世界文化遺産登録へ向けた市民への提案を発表。また、市教育委員会の羽石智治学芸員が発掘調査の状況を報告しました。